

予算編成の考え方

平成27年度当初予算は、次世代につながる推進すべき優先度の高い施策に重点的に予算を配分しました。

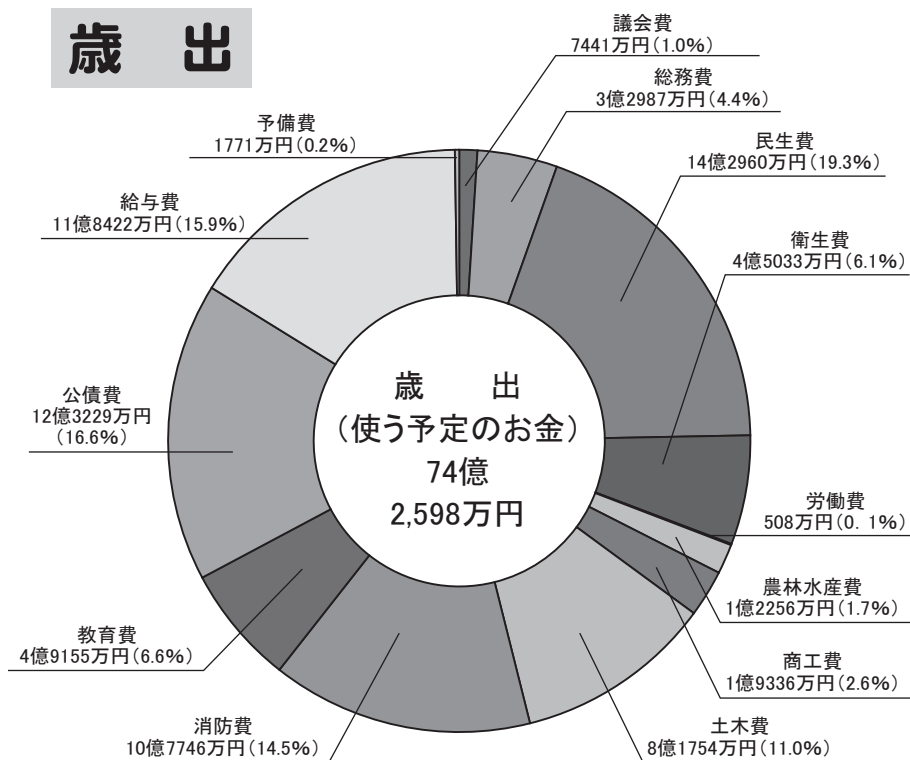
1点目に、安全・安心のための防災・減災対策として、これまで未整備の洞爺地区を含め、町全域で防災情報の伝達体制を確立するための防災行政無線デジタル化整備事業を実施します。さらに西胆振消防組合が実施する消防・救急デジタル無線の整備、通信指令台の一元化整備及び老朽化した消防洞爺出張所の建替えとなる消防施設等整備事業で、西胆振消防組合に対して負担金を新たに計上しました。

2点目は、子育て支援対策として、医療費助成事業の対象年齢を拡大し、中学生以下の医療費を無料化する乳幼児等医療費助成事業を新たに計上しました。

継続分としては、学校耐震化事業、虻田漁港大磯分区分整備事業、海岸通整備事業などを昨年度から引き続き予算を計上しました。

これらにより、一般会計予算額は、74億2,597万6千円

歳出



(前年当初比9・8%増)、特別会計、水道事業会計を含めた

全会計予算総額は、平成26年度と比較し6億2,597万4千円、

5・4%増額の11億7,994万5千7百円となりました。

歳入では、固定資産の評価替えにより固定資産税の減額を見

込んだことから、町税収入全体で対前年度2・9%の減額とし

地方交付税については、普通

交付税で前年度の交付実績から

3・3%の減額を見込みました。水道

繰入金は、昨年度実施した水道

硬水対策事業に対する基金からの繰入金の減により、対前年度

地方債（借金）の残高

(単位:万円)

会計別	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (見込)	平成27年度 (見込)
一般会計		116億6553	107億5620	102億1635	95億2111	95億1459
公共下水道事業 特別会計		45億9895	43億3251	40億7370	38億1662	36億1615
簡易水道事業 特別会計		6億2876	5億8304	5億3964	5億26	4億8563
水道事業会計		8億5795	8億3916	8億2708	8億264	8億2573
合計		177億5119	165億1091	156億5677	146億4063	144億4210

基金（貯金）の残高

(単位:万円)

会計別	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (見込)	平成27年度 (見込)
財政調整基金		9億3934	10億	11億4882	8億7400	7億7516
減債基金		1億267	9955	1億274	1億279	1億284
その他特定 基金		11億2413	1億269	15億2646	13億648	12億8661
合計		21億6614	15億2553	27億7802	22億8327	21億6461

※歳入不足を補てんするために使用することができる基金は、財政調整基金と減債基金である。

抑制を引き続き行い、人件費や公債費などの義務的経費は減額となりましたが、社会保障関連経費の増額や防災行政無線デジタル化整備事業など、普通建設事業の拡大を当初予算に計上したことが主な増額の要因となりました。

財政健全化団体から脱却し、財政指標は徐々に改善傾向にあ

ります。地域経済の動向や町の財政状況を判断する指標は依然として厳しい状況にあることから、平成28年度以降も引き続き、事務事業の見直しによる経常経費の抑制に取り組みながら、持続可能な財政基盤の確立を目指すことを基本的な考え方として、当初予算を編成しました。

なお、平成26年度の国の補正